

祭事暦

9月1日 午前8時30分
月次祭

9月19日 午前10時 商工祈願祭
献灯奉告祭
例祭宵宮祭
午後1時 流鏝馬神事
午後2時

9月20日 午前10時
例祭

9月23日 午後1時
末社御祖神社例祭

9月29日 午前10時
末社宮山神社例祭

相模

発行所
寒川神社社務所

〒253-0195
神奈川県
高座郡寒川町宮山3916
電話 代表0467(75)0004

編集者 前島 正
印刷所 樹さんこうどう



鎮守の森

寒川神社では、九月二十日に例祭、前日の十九日に流鏝馬神事が執り行われます。例祭は、各神社で毎年行われる祭祀の中で最も重要とされ、特別な由緒とは、明治四十四年三月発行の『寒川神社誌』によると神階昇進に対する祝祭です。十九日の流鏝馬神事は貞観十一年(八六九)における従四位上、二十日の例祭は元慶八年(八八四)における正四位下の祝祭として斎行されていると記されています。承和十三年(八四六)に初めて神階を賜り、以後順次昇階し建仁元年(一一〇二)最上位の正一位を授かっています。近年の日本人は、情・家族愛・企業等も含めての仲間意識・連帯感が希薄化しています。少し前までは、「慶事・弔事・盆・暮・正月位いしか皆で顔を合わせる事が無いね。」などと云われておりましたが、最近はおぼつかない人が居るのも現状でしょう。皆様方には、各家庭・組織においても各人が記念の日を一つ一つ見直し、常にルーツを念頭に置き、家の家風・風習・個人の誕生日、会社の社風・創立記念日等、各種記念日を再認識し人生にしっかりと節目をつけ、張りを持った日々を過ごして頂きたく存じます。またこれを契機に国民の祝日の意義を各人が理解されれば、日本人らしさの再発見につながり、連帯感が芽生え、愛国心を蘇らせ、大和心を次世代へ橋渡しをする事ができます。例祭は云わば神社最大の記念日です。神階をいただいた当時の喜びを忘れずに感動を新たなものとして、御神徳の更なる発揚に努め、日本の良き伝統・風習を後世へ語り継がなくてはなりません。寒川神社に奉職させていただいている神職として切に感じます。(水谷智賢)

●

祝祭日には
国旗を掲げましょう

第四十五回 相模薪能開催
終戦記念日、護国の英霊に捧ぐ

終戦記念日である八月十五日、先の大戦にて祖国を護るべく尊い命を捧げられた英霊を始め、平和の世を願い辛苦に耐えつつも鬼籍に入られた戦争犠牲者の数百万柱の御霊をお慰めし、世界の恒久平和を祈る「相模薪能」が開催され、千五百名を超える観覧者は能楽師による幽玄の世界を堪能いたしました。



静寂に響き渡る蝉しぐれの中、薪能の開催を御神前に奉告する祭事が本殿で斎行され、同時に舞台の四方が白い清められました。

その後「火入れ式」が行われ、御神火が篝火に灯されると、開会宣言である茅ヶ崎市長服部信明氏、副奉行である寒川町商工会会長島村繁氏、本年新たに茅ヶ崎商工会議所会頭に就任さ



▶能「江野島」



◀少年館生演ずる花見稚児

れた山口利通氏により奉仕され、演能に入りました。本年は、四十五回を記念し、寒川神社の青少年育成活動の一環として活動しております「寒川神社少年館」



▶狂言「口真似」



◀能「鞍馬天狗」

の館生十五名が、能一番に出演し、日本の伝統芸能に触れました。

館生は、予想を超える大勢の観客を目にし、今までに無く緊張をしておりますが、鎌倉能舞台理事、中森貫太師に数か月に亘り稽古を付けて頂いた成果を発揮し、無事に大役を努めました。

当日は能「江野島」・「鞍馬天狗」の二曲が中森貫太観世喜正・殿田謙吉各氏、狂言「口真似」が野村萬斎氏等により演じられ、観衆はその熟練された迫真ある演技に惜しめない拍手を送り、盛況のうちに終演を迎えました。



平和祈願祭齋行

終戦記念日である八月十五日の正午、末社宮山神社の境内に建つ平和の塔「和光」の前にて平和祈願祭が斎行されました。

この「和光の塔」は、永遠なる平和を願い、宮山住民の総意で建立された碑で当日は、責任役員、正副総代長、宮山住民の方々が参列し、戦没者に慰霊の黙祷が捧げられた後、世界の恒

久平和が祈願されました。



音楽教師「雅楽」を研修

八月二十一日寒川、茅ヶ崎地区の中学校音楽教師の研修会が当神社で行われ「雅楽」について研修致しました。

当日は十八名の先生が訪れ、職員から楽器や楽譜・曲の解説を受けた後、雅楽演奏を聴き、更に楽器にも触れて頂いたり、雅楽への理解を深めて頂きました。今後の生徒指導に少しでも役立てて頂きたく存じます。



神社実習生 受入れ

本年も國學院大學・皇學館大学の両校より八名の学生を迎え、神社実習が実施されました。

この実習は、各神社にて実際に奉仕をすることで神職としての自覚や心構えを培うために行われているもので、社頭の実務、新能奉仕、禊行事の神務実習の他、病院や神恵苑の施設見学、青少年育成等、寒川神社ならではの社会活動にも参加致しました。

実習生の今後の活躍を期待しております。



青少年育成活動に参加する実習生



夏休み子供ラジオ体操実施

いました。

宮山西下子供会による夏休み子供ラジオ体操が、八月二十五日から二十九日にかけて行われました。

子供達は早朝境内に集合ラジオに併せ元気よく体操を行い、全員で参拝をした後境内を清掃しました。

最終日まで休まず続けて頑張った子供には、神社より記念品が授与され、「有難う」と嬉しそうに頂いて



神嶽山神苑だより

◇九月開苑日のご案内

例年十六日・十九日の間は流鏝馬神事(十九日)の準備等につき臨時閉苑としておりますが、本年は開苑いたします。なお、通常の入苑通路(馬場)はお通りになれませんので、祈禱受付所東側よりお入り下さい。

◇石舞台行事のご案内

九月二十一日(日)

午前十一時・午後二時より

(雨天時中止)

※尚、入苑はご祈禱をお受けになられた方に限りです



◆青少年活動だより



ボーイスカウト寒川第二団

発団四十周年記念キャンプin沖縄

八月五日から八日にかけて、
発団四十周年記念キャンプを沖
縄県にて実施致しました。

このキャンプは当団が寒川神
社の青少年育成活動の一環とし
て昭和四十八年に発団以来、昨

年で四十周年を迎えた為、昨年
六月の記念式典と共に計画され
ていたものです。

初日は那覇に到着後首里城を
見学し、宿泊地である名護青少
年の家へと向かいました。予定



▶ 守礼門にて

していた野営
と野外炊事は
台風接近の為
残念ながら中
止と致しまし
たが、夜には
雲も途切れ、
夜間ハイキン
グを行い暗闇
の中で虫の音
や鳥の声を聞
き星空も観察
することが出
来ました。

二日目は、
慶佐次川をカ
ヤックで遊り
マングローブ
の森の中でウ
ミヘビ、カニ
をはじめ数々
の生き物を発
見し、ヤンバルの川の自然を堪能
した後、残る二日間の宿であ
る宜野座村へと移動しました。
夕食後は地元の宜野座中学二年
生の大城茉綸さんと師匠の屋良
常雄さんをお願いをし、三線で
の沖縄伝統音楽を楽しみ、最後
は全員で「島唄」を合唱致しま
した。また、大城さんがスカウ
ト達と同年代の為、演奏後も記
念写真を撮ったり話をしたりと
大いに盛り上がり、思わぬ交流
会となりました。



晴天に恵まれシュノーケリング



マングローブカヤック

午後は美ら海水族館へと移動、
巨大な黒潮の海の水槽でジンベ
イザメの餌付けを見学した後、
イルカショーでは訓練されたパ
フォーマンスに魅了され、最後
に水槽前でイルカからの水掛け



◀ 大城さんと中二スカウト

の歓迎を受け、ずぶ濡れになり
ながら宿舎へ戻り、夜はキャン
ドルファイアーを行い、班毎に
趣向を凝らした出し物が披露さ
れました。

最終日は那覇市に戻り、四日
間の天候に感謝しつつ沖縄県第
一の神社「波上宮」に正式参拝
をし、琉球王国時代からの神社
の歴史について説明を頂き、帰
路につきました。

折しも大型の台風十一号が接
近する中での実施となり、日程
が無事にこなせるか否かの判断
を当日に行い、行程の変更をし
ながらのキャンプとなりました
が、予定した全てのプログラム
を行う事が出来、参加者全員に
とって思い出に
残る有意義な
四日間となった
事でしょう。



本日の出し物は何ですか？



寒川神社少年館

盛りだくさんの夏季行事

夏季錬成会

今年の錬成会は、これまでで最も多い七十四名の館生が参加し、去る七月二十八日・二十九日にかけて山梨県八ヶ岳にて実施した。バス二台に分乗して予定通り出発したが、中央道の事故渋滞に遭い最初の目的地、甲斐国一宮・浅間神社には二時間遅れで到着した早速正式参拝をさせて頂き寒川神社旧職員植松氏のこ子息の案内により富士山の



神様について学んだ。

宿泊先の「八ヶ岳少年自然の家」では、昼食後広大な森と草原を利用した冒険ハイクに挑戦し、各班協力してスリルと達成感を味わった。夜には、懐中電灯で目印を探しながら真っ暗な森の中を探検。恐怖心を抑えながら抜けた後には満天の星空が迎えてくれた。

翌日は、クラフトを行い昼食にはそば打ちを体験。不揃いではあったが自分達で作ったそばを美味しく味わった。その後、県立リニア見学センターに寄り、スクリーンや展示物によるリアの仕組みについて学んだ。今回、異学年の班を纏め上げた六年生班長の成長ぶり、様々な体験を通して全員が逞しくなっており帰館で

きたことで、今後の活躍につながる錬成会となった。

秀作美術展見学

今回六十四点の作品を出品した全国学校秀作美術展の見学と授賞式に、去る七月二十六日東京都美術館を訪ねた。

上野公園内に佇む立派な美術館に展示してある自分の作品に驚きながら見学したり、他の学校児童の作品と見比べながら鑑賞した。その後国立科学博物館を見学し、入賞者は別れて授賞式に臨んだ。大勢の方々が見守る中壇上上がり、賞状と記念品を戴いた。

お泊り会

本年も八月十七日・十八日にかけて、恒例の「夏のお泊り会」を実施した。

今回は、JAXA相模原キャンパス見学と相模原市立博物館のプラネタリウムを鑑賞し、宇宙開発のことや星座について学んだ。翌朝は恒例の座禅で身を引き締め、クラフトでは「ぶんぶん蝉」を作製し、境内で鳴く蝉に負けじと大

きな音を鳴らしていた。一年生には、初めての少年館での宿泊体験が大きな自信になったようである。



神社庁書道展・絵画展

神奈川県神社庁主催の書道展・絵画展に本年も多くの作品を出品し、書道展に二名、絵画展には九名の作品が入賞・入選しました。

その授賞式が去る八月十九日、横浜・杉田劇場で行われ、家族と共に出席し賞状と記念品を頂きました。緊張した面持ちで壇上上がり、賞状を受けた後は満面の笑みを浮かべておりました。今後、更なる上位を目指し講座に取組んでくれることを願うものです。

「第十回まほろば首都圏小学生合宿」開催

今年で少年館では三回目となる「第十回まほろば首都圏小学生合宿」が、去る八月五日・六日の日程で開催された。

これは、NPO法人まほろば教育事業団によるもので、当館館生六名と、県内を始め東京などから十四名の小学生が参加して行われた「伝統文化に親しみ、故郷の偉人に学ぼう」とテーマを掲げ、道徳教材にも登場する寒川神社の偉人・二宮金次郎について、その功績や残した和歌等から自分たちの心の在り方を学んだ。



450

健康手帳

食生活で乳がん予防!!

宗教法人 寒川神社 寒川病院

外科 劉 孟娟



近年、日本で乳がんが増えているのは、食生活の欧米化が大きく関連しているとも考えられている。これに対し、世界がん研究基金(WCRF)とアメリカがん研究所(AICR)が「食事、栄養と運動のがんの予防に関する報告書」(WCRF/AICR報告書)を発表した。これは世界で最も信頼性の高い報告書とされている。この報告書と日本での研究結果を基に説明する。

肥満・閉経後女性の発がんリスクを上げるが、閉経前女性にはリスクが減少する閉経前女性のリスク軽減に關して原因が分からない。しかし、肥満は様々な生活習慣病にかかるリスクを確実に増やすことを忘れてはいけない。

アルコール…日本人に關す

るデータは少なく結論はまだないが、飲む量が増えるほど確実に発がんリスクが高くなる。一日飲む量として、日本酒なら「合、ビールなら中ジョッキ一杯、ワインならワイングラス二杯までなら大丈夫だそうだ

大豆食品やイソフラボン…食品からの摂取でリスクが低くなる可能性はあるが、サプリメント摂取では証明されていない。通常の食品からイソフラボンを摂るよ

うに心がけよう。

乳製品…発がんリスクを下げる可能性はあるが、牛乳そのものの関連性はわからない。また、乳製品全般摂取したほうがリスクを下げるとの報告もある。

サプリメントや健康食品を摂取することでの発がんリスクの關係…WCRF/A

ICR報告書では、がん予防目的にサプリメントを摂取することは勧められないとなっている。いままではビタミンA、ビタミンC、ビタミンB6、葉酸、ビタミンB12、ビタミンD、ビタミンE、カルシウム、鉄カロテン類、イソフラボンなど有効性が検討されたが関連性が見られなかった。

食品と薬の違い

薬とは薬事法という厳しい法律に基づき、人間が服用した場合の有効性や安全性を厳密な基準で確認した上で、厚生労働省が認可したもの。また、許可されたもの以外は効能/効果(例えばがんが小さくなる)を表示することはできない。いわゆる「トクホ」とは、

生理的働き(例えばお腹の調子を整える)があるもので、医学的、栄養学的に期待でき、厚生労働省が指定したもののだが、いずれも医薬品のような厳しい基準で効果や安全性が確認されたわけではない。したがって乳がんを予防するトクホもサプリメントも存在しない



人事

◆退職

△寒川病院▽

医師 赤塚 正洋
 看護師 永田 由貴
 薬剤師 島村 梓
 願いに依り職を免ずる
 平成二十六年八月三十一日

今月の木札

◀長月



月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です

吉田兼好は「徒然草」にて「月は満月ばかり見るものでなく見る事が出来ない雨の日に月を恋うのが良い」と外形のみでなく内面に満ちる情趣を味わう余情美を重んじています。「現実を媒介に心の世界を映す」。皆様、心の栄養足りていますか？

医療講演会のご案内

とき 平成二十六年九月二十九日(月)

午後二時～三時

ところ 寒川神社参集殿 **入場無料(申込不要)**

内容 「頭痛について」 よくある頭痛と危険な頭痛

講師 副病院長 栗田 啓司

問合せ 電話 〇四六七(七五)六六八〇

寒川病院

冬川俳壇

男とは寡黙がよろし冷奴
 北枕などとは言わず三尺寝
 仏飯の乾びきつたる大暑かな
 寄席はねて帰る小路や夜の秋
 叩かれて見初められたる大西瓜
 夜の秋妻から匂うサロンパス
 夕端居並ぶ背中の瓜二つ
 住職が括りておりぬ乱れ萩
 隣にも孫の声せり夏休み
 縦の物横にも出来ぬ極暑かな
 縄ほどの河馬の尻尾の昼寝かな
 揚げ花火素足あずけて夜の芝生
 海の日の海鳥はみな沖を向く
 御巢鷹の慰霊の山や露の朝
 命中はなかなか出来ぬ西瓜割
 和菓子屋の南部風鈴鳴りにけり
 道化たる姿フェンスの荔枝かな
 働くも遊ぶも好きと梅を干す
 草を刈る老農鎌をしゃりしゃりと
 間迫る中洲に騒ぐ行々子
 早朝の白砂に乱舞浜降祭



- 飛石 樺花
- 金指 月光
- 根岸 君子
- 菅沼つめの
- 菅沼 保幸
- 松村 信篤
- 松本美智子
- 浦野 房子
- 岩田美代子
- 宮入 つる
- 芹澤 徳光
- 伊藤 公一
- 露木てる子
- 原野 楽天
- 竹村真砂美
- 倉谷 節子
- 三輪 恭子
- 金子 つち
- 皆川志んこ
- 天沼 子平
- 四ツ車梢月

九月 手水舎奉掲

明治天皇御製

ちはやふる 神のひらきし 道をまた
 ひらくは人の ちからなりけり

相模詠草

こぼれ種の小さき苗のつぼみ開く今朝の一輪朝顔の赤
 新じゃがをレンジで六分ほつくりと田舎の土の香り味わう
 夫と吾の七十三年 終りの時の今をこよなく心の通う
 頭あげバクバク口あけ競いあうおたまじゃくしの可愛い動き
 空見れば積乱雲が頭の上にゲリラ豪雨の恐さのよぎる
 子が失くせり財布ポストにもどりたる福がきたれる初出勤日
 きららなる紫陽花・バラの花に酔い初夏を楽しむ強羅公園
 青青と早苗色づく畦道に片足で立つ白鷺一羽
 アジサイ十輪なかに一際目を引くはガクアジサイの青きムラサキ
 千枚田見上げる大山美しく早苗を渡る風も爽やか
 早苗田は忽ち色ましくたくましく水面に葉影おどらせており
 やうやくに花ひらきたる朝顔の瑠璃いろの声くれなゐの声
 むか漬に納豆みそ汁これが一番旅よりもどりわが家の食事
 田に水の入りて早苗の育ちゆく緑をゆらす水無月の風
 夏も涼し清水わく池の真鯉たち餌に群れ泳ぐもどこかゆつたり
 手入れ怠り今年の花の小さきをわびつつ眺むクジャクサボテン
 保育園の七夕飾りにゆれる夢花屋・ピアニスト・宇宙飛行士
 終戦の記念日の朝暑くしてさんご樹の実の赤く光りぬ

- 宮治友美枝
- 徳江 道子
- 宇田川時子
- 土屋トミ子
- 浜田 寿子
- 山口 幸子
- 山根喜美代
- 亀山 文子
- 安藤 慧
- 川島恵美子
- 天利 春枝
- 平澤まさえ
- 稲垣 武子
- 吉田 幸子
- 三留とく子
- 岡元 芳子
- 杉本 照世
- 瀧本三重子

表紙写真説明

編年集後記

御由縁深き例祭にあたり
 被所にて修被に臨む祭員等

「月月に月見る月は多けれど
 月見る月はこの月の月」

ユーモア溢れるこの歌は
 詠み人知らず江戸時代の作
 自在に言葉を繰り、遊び
 楽しむ。実に心豊かな歌である

相模國
一之宮

寒川神社例祭



【いちねんつうてん〜誠意が必ずや天に通じて、いかなる事でも達成することができる〜】

9月19日[金]・20日[土]

19日…午後1時 宵宮祭 午後2時 流鏑馬神事 20日…午前10時 例祭



神賑行事

9月19日[金]・20日[土] 両日

- 献茶 裏千家田津原社中
- 献花 千家古流森久保社中
- 献句 寒川俳壇
- 盆栽展 寒川町盆栽会
- 祭囃子 寒川町祭囃子保存会連合会
- 水石と美石展 湘南石同好会
- 奉納演芸 宮山総代

9月15日[月]
柔道大会

※寒川総合体育館武道場 寒川町柔道協会

9月19日[金]

落語「春風亭柳之助」

※寒川神社参集殿 寒川神社商工奉賛会

流鏑馬神事

大日本弓馬会

9月20日[土]

剣道大会

寒川町剣道協会

空手道演武

寒川町空手道協会

万灯パレード

立正佼成会湘南教会

神輿境内巡行

宮山神輿愛好会

9月11日[木]～9月21日[日]

テニス大会

※寒川ローンテニスクラブ

